



かけこ通信

令和6年度 第3号
令和6年6月17日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校発行(文責:小川)

1年生掛合町内バスツアーへ出かけました

5月21日(火)1年生の地域交流学習がスタートしました。手始めは、広い掛合町の5地区をバスで巡る「掛合ツアー」です。この取り組みは今年度で3回目で、各地区の寺社や名所をまわり、地区の方のお話をお聞きして学ぶことを目的としています。

① 波多地区…波多神社

宮司さんと禰宜さんから神社の由緒や過去にあった大杉、はやしこなどの伝統行事へかける地区の方々の熱い思いをお聞きしました。

② 入間地区…八重山神社

交流センター長さんから神社の由来や花田植えのお話をお聞きしました。神社への急な階段に息も上がりましたが、みんなで声をかけあって登ることができました。大岩を背景にした神社には建立の謎が深まりました。

③ 松笠地区…龍頭が滝

松笠ご縁の館会長さんのご案内で滝の名称の由来、滝にまつわる伝説などお聞きしました。実際に見た滝には歓声が上がりました。

した。汗ばんだ体にマイナスイオンの風が心地よかったです。

④ 多根地区…円通寺

前会長さんから「多根」の由来や円通寺の由緒や秘仏についてお話しいただきました。現在は住職の方が不在であることなどお聞きし、なんとかしたい思いがわきました。生徒たちのにぎやかな声に前会長さんも喜んでくださいました。

⑤ 掛合地区…かけや酒蔵資料館

分校の近くにありながら、生徒たちにはあまり知られていなかったかもしれません。日本酒の醸造過程などを見学できる施設で、展示室での映像などもあり、日本酒の文化を学びました。立ち上る日本酒の香りに酔いしれました。



1年生は担当地区を決め、昨年度の1年生の活動を継承しつつ自分たちで創意工夫を重ねながら、今後、地域課題に取り組んでいきます。

「入間 Day」に参加しました

5月26日(日)を「入間 Day」として、1・3年生が「入間花田植え」に、2年生が「八重滝を見学するツアー」にそれぞれ参加しました。

まず、入間交流センターをはやしこ行列が田んぼに向けて出発し、女子生徒は伝統衣装を身につけ早乙女(さおとめ)となり田植えを、男子生徒は法被(はっぴ)を着て苗渡しをしました。地域の方や分校の卒業生たちの参加もあり、総勢40名ほどの早乙女さんが一列になって、賑やかに田植えが行われました。

1年生の多くは初めての水田で、始めは思うように進めない者がいました。また、昨年度宇山地区での田植えを経験した3年生にも、おはよしの早さに追いつかず戸惑いが見られましたが、いずれも徐々にペースをつかみ、地域の方々と一緒になって笑顔で楽しんでいました。苗渡しの男子も早乙女さんの植えていく様子を後ろからしっかり見守りながら、絶妙のタイミングで苗を渡していました。



2年生は、昨年度の掛合町内バスツアーにおいて八重山神社を見学しました。それをきっかけとした一年間の探究学習（地域学習）で入間地区を希望したグループは、八重滝を回るスタンプラリーを企画しスタンプを作成しましたが、その設置までは至らず、残念ながら昨年度中には八重滝へ行けないまま終わりました。そのため、今回はその希望を叶える形にもなりました。

25度を超える気温でしたが、心地よい溪流のせせらぎを聞きながら、散策を楽しむことができました。



校外進路学習へ出かけました

6月6日（木）全校で校外進路学習へ出かけました。企業見学コースと専門学校見学体験コースに分かれて、バス3台で出発しました。

午前中に企業見学コースは、株式会社丸八ポンプ製作所島根工場、ウィンテック株式会社斐川工場を見学しました。それぞれ製造工程などを見学し、製品の一つ一つができあがっていく様子などを目の当たりにしました。製造業と一口に言っても様々な分類があり、私たちの身近にも伝統のある、また世界に誇れるものづくりをされている会社があることに気づきました。



また、医療系学校見学コースは出雲医療看護専門学校へ、医療系以外の学校見学コースはさらに坪内総合ビジネスカレッジ、松江栄養調理製菓専門学校の2つ学校に分かれて訪問しました。丁寧な説明や見学、実習体験など、それぞれの学校で様々な様子を見て、体験しました。最先端の機器類を取り入れた実習や先生・学生さんたちの説明を見聞きすることで、それぞれの学校の特色や具体的なイメージ、雰囲気などを直接知ることができました。

午後からは、すべてのコースが一堂に松江テルサに集結し、ライセンスアカデミー主催の企業ガイダンス・進学ガイダンスへ参加しました。希望のブースを回り、大学・専門学校や企業等の様子を詳しく知ることができました。

今回学んだことを参考に、自分の進路に向き合ってくれることを願っています。

3年生ボランティア研修会(絵手紙ワークショップ)を行いました

6月10日（月）1・2限に、3年生ボランティア研修会（絵手紙ワークショップ）を行いました。

「様々なボランティア活動があることを知ろう」「ボランティアの素晴らしさについて知ろう」「ボランティア活動のやりがいや楽しさを体感しよう」の3つを目的に、雲南市社会福祉協議会、三刀屋絵手紙ボランティアの会から講師をお招きし講演いただきました。特に『ボランティアは、自分の得意なこと、やってみたいこと、気になること、好きなこと、放っておけないことなどを、誰かのために活動することであり、決して特別なものではない。そしてその活動が自分自身を成長させるきっかけにもなる。』という言葉がたいへん印象的でした。



その後、絵手紙ワークショップに移りましたが、普段の水彩画とは違い、「決まったかき方や形式がない、感じたままに自由にかこう。ヘタでいい、ヘタがいい。」と助言をいただきながら、具体物を前に筆を動かしました。「送り先は地域の方に」と受け

取る方が見えない中での活動でしたが、それぞれの発想を頼りに、絵とことばをかいていきました。

写真の成果物をご覧ください。『誰かのためになっとうれしい』→『そして自分もうれしい』と感じた生徒が多くいたはずです。

